

安全上の注意

警告、注意及び施工説明の内容をよくお読みの上、お使い下さい。



警告

- ・器具の定格を超えて使用しないで下さい。
発熱し火災の原因になります。
- ・器具に表示してある以外の電線を使用したり電線ストリップの長さが適正でないと発熱し、火災の原因になります。(ねじなし端子の場合)
- ・結線の際、端子ねじが緩んでいると発熱し火災の原因になります。(ねじ端子の場合)
- ・より線を半田あげして接続しないで下さい。発熱して火災や焼損の原因となります。
- ・器具の取付は、必ず工事業者に依頼して下さい。
一般の方の取付は、法律で禁止されています。



注意

- ・浴室内及び高温、低温、粉塵の多い場所に設置しないで下さい。
感電や発火の原因になります。
- ・水のかかる所には設置しないで下さい。
感電や発火の原因になります。(防雨形の場合は除く)
- ・硫化水素ガスやアンモニアガスなどの多い場所では、使用しないで下さい。また、それらを浴びせないで下さい。
劣化による火災や焼損の原因となります。
- ・カバーなどが割れたり、カバー止めねじが緩んでいたり、コンセントはプラグの抜き差しが極端にゆるい状態で使用しないで下さい。
感電や発火の原因となります。
- ・アースの接続は確実に行って下さい。
感電する恐れがあります。(接地極付の場合)
- ・ほこり、湿気の多いところでは、プラグを長期間差しっぱなしにしないで下さい。発煙や発火の原因になります。(ときどきプラグの表面や刃と刃の間を掃除してほこりをとって下さい)
- ・プラグを中途半端に差し込んだ状態で使用しないで下さい。
発熱の原因になります。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しをしないで下さい。
感電の恐れがあります。

は除く
ジョイントボックス

施工説明

- ・巻締め接続の場合、心線が端子ねじの首の周囲に3/4以上巻き付くよう時計回りに輪を作り、端子ねじを輪の中に通して端子ねじを適正トルクで確実に締め付けて下さい。
- ・はさみ込み接続の場合、器具に表示されているストリップゲージに合わせて電線の被覆を剥き、端子ねじを緩めた後、電線挿入穴から端子と座金の間に電線を奥までしっかり差し込み、端子ねじを適正トルクで確実に締め付けて下さい。
- ・圧着端子接続の場合、端子ねじを外し、適用する圧着端子を端子ねじに組み込んで、適正トルクで確実に締め付けて下さい。
- ・端子ねじの適正締付トルクは端子ねじのサイズにより異なりますので、総合カタログ又は明工社ホームページをご確認下さい。
- ・器具に表示してある電線をストリップゲージに正しく合わせストリップを行い、端子の奥までしっかり押し込んで下さい。(ねじなし端子の場合)
- ・より線を棒端子を用いて結線する場合は必ず当社指定の端子を使用して下さい。(ねじなし端子の場合)
- ・曲がった電線は使用しないで下さい。(ねじなし端子の場合)



株式会社 明工社

お問い合わせの電話・03-3577-1155

K9-60A1
B